

1月28日

ふるさとの食と農を学ぶ 豆腐づくり体験



南平野小学校3年生の児童33人は、JAにしみの「ふるさと隊」の指導のもと豆腐作り体験を行いました。児童たちは1年を通して、学級園で育ててきた大豆で豆腐を作り、食と農業の大切さを学びました。

また豆腐作りの過程でできたおからで、みたらし団子を作るなど、素材を余すことなく使いました。児童は「いつもの豆腐より味が濃く、甘かった。団子もおからの味でおいしかった」と話しました。

100歳
おめでとうございます!



2月6日に100歳を迎えた武邑時子さん(新西保)を谷村町長が訪問し、内閣総理大臣からのお祝いの賞状やバラの花束などを贈りました。

武邑さんは、綺麗好きで現在でもゴミが落ちているとホウキとチリトリを持ち、掃除を始められるそうです。また、長寿の秘訣は、昔から働き者で、よく体を動かされていてことと、3食しっかり食べられていることだそうです。

町長から「これからも健康で長生きしてください」と声をかけられると、武邑さんは「ありがとうございます」と笑みを浮かべられました。

万が一のために 救命講習

1月31日



大垣消防組合北部消防署による「救命講習」が、神戸中学校であり、2年生163人が救命処置の方法を学びました。

人が倒れているところを発見した想定で、救命処置の一連の流れの説明を受け、その後、救命練習キット等を使用して、胸骨圧迫の方法やAED、人工呼吸を体験しました。

生徒は「万が一のために今日習ったことを活かして人命救助に繋げたいです」と語りました。

なぜ税金があるの？

1月30日



町内4小学校の6年生を対象に、納められた税金がどのように使われているかを学ぶ「租税教室」が行われました。神戸小学校へは、役場税務課職員が講師として出向き、税の仕組みについて説明しました。

授業の後半には“税金がない社会”をテーマにしたDVDを鑑賞。火災消火や医療費には多大な費用がかかることや、交通設備などが機能しなくなることを学びました。

児童は「税金をしっかり納めて皆で助け合うことが、生活が豊かになることだと分かりました」と感想を述べました。

鬼は外～福は内～節分集会

2月3日



町内幼稚園で節分集会が行われ、北幼稚園では全園児102人が参加しました。

節分の劇の中で、給食の食べ物を粗末にする“好き嫌い鬼”や先生の言うことを聞かない“イヤイヤ鬼”などが登場。そこへ福の神が現れ、みんなにお手本を見せると、園児は一斉に鬼に向かって「鬼は外～！福は内～！」と豆まきをしました。鬼が逃げ去った後は、全員で「豆まき」の歌を歌いました。

人権啓発講演会

2月8日



町主催の人権啓発講演会が中央公民館で開催され、約700人が参加しました。

北朝鮮拉致被害者の蓮池薰さんが「翻弄された運命のなかで」と題して、講演を行いました。

蓮池さんは24年間、北朝鮮での生活を余儀なくされていたことや、北朝鮮での生活内容、帰国するまでの経緯等を話されました。夢と絆を求め、生き抜いた経験から、諦めず戦うことの大切さや人権問題の深刻さを訴えかけ、参加者は真剣な表情で耳を傾けていました。

講演後には神戸町人権擁護委員の皆さんによる活動内容などの紹介が行われました。

神チャレ2019 成果発表会

2月13日



住民と役場職員が一緒になって“神戸町に住んで良かった”と思えるまちづくりを目指す、「神チャレンジプロジェクト」の成果発表会をばらの里で開催しました。

「まちのにぎわいづくり」、「郷土愛を育む」、「人の輪づくり」のテーマを掲げた3チームが、1年間の活動の成果と来年度の方向性などを発表しました。

発表者は「神チャレで企画したイベントに参加された方から、喜びの声をいただいた。更に喜んでいただけるよう、来年度も頑張って取り組みたい」と話しました。

Super !!
Godo
Topics



振込詐欺防止街頭啓発活動

2月14日



年金支給日に合わせて、町の地域安全指導員17人が大垣警察署と連携し、ばらの里や町内のスーパーなどで振込詐欺撲滅に向けた街頭啓発活動を行いました。

指導員らは、来客者にチラシや啓発グッズを配りながら振込詐欺に遭わないよう注意喚起。

指導員は「振込詐欺は自分には関係ないと思っている方がまだいる。些細なことでも家族や近所の人と日頃から話しをすることで詐欺防止につながる」と熱く語りました。